

序章 加速する避難の広域化 3

——なぜ、広域避難に着目するのか

1 背景と目的 3

2 本書の位置付けと特徴 7

3 本書の構成 9

第1部 住まいと暮らしの復興に向けた枠組み

第1章 災害と居住の復興 15

——広域避難をめぐる理論的視点

1 広域避難の概念整理 15

2 過去の災害における広域避難 22

3 広域避難の論点と課題 32

4 生活再建と復興 36

5 居住と権利 40

6 居住の復興の実現に向けて 43

第2章 災害時の居住支援の展開 45

——人による支援と体制づくり

- 1 住宅政策とセーフティネット 45
- 2 居住支援の定義と解釈 48
- 3 住宅確保要配慮者と被災者の位置付け 51
- 4 被災者支援と仕組みの変遷 54
- 5 災害時の居住支援の枠組み 57
- 6 支援体制の確立に向けて 61

第3章 復興過程における住まいの選択肢 63

——支援制度とメニュー展開

- 1 避難フェーズ 64
- 2 被害認定と応急危険度調査 67
- 3 仮住まいフェーズ 71
- 4 再建／復興フェーズ 80
- 5 支援制度の利用条件 88
- 6 経路によって異なる支援 92

第II部 岩手県盛岡市のケーススタディ

第4章 東日本大震災と岩手県盛岡市 97

——対象の位置付け

- 1 東日本大震災による住宅被害の概要 97
- 2 岩手県での住宅供給 101
- 3 岩手県での居住支援と実施主体 110
- 4 盛岡市への避難と多様な支援 117
- 5 岩手県と盛岡市の特徴 127

第5章 もりおか復興支援センターの取り組み

——だが、どんな支援をしているか

- 1 盛岡市の避難者支援の現在地 129
- 2 避難者の把握と支援度の判定方法 135
- 3 支援業務の内容とその変遷 141
- 4 運営体制と支援者の属性 150
- 5 長期的支援のあり方と課題 153

第6章

盛岡市への広域避難と居住の行方

——だが、なぜ避難し、どこへ行くのか

155

1 データ取得方法と分析方針

155

2 盛岡市への避難状況と経緯

158

3 盛岡市へ避難した世帯の特徴

167

4 居住形態の経年変化

172

5 居住地選択の傾向分析

179

6 避難先での定住と多様な住まい方

185

第7章

居住の安定化をめぐる課題

187

——現場で生じている困難

1 みなし仮設住宅から次の住まいへの移行

188

2 住まい確保・再建への道筋

192

3 仮住まいと居住の安定

199

4 支援上の課題とその要因

202

5 見通しのある再建に向けて

207

第8章 居住支援制度の検討 209

——法令と現場の間にもみる対応方針

- 1 法令と運用方針の照合の方法 210
- 2 世帯分離が生じたケースの照合結果 214
- 3 世帯分離を伴わないケースの照合結果 219
- 4 運用面からの制度検討 226
- 5 制度と現場の隔たりをなくすために 230

第III部 東日本大震災からの教訓

終章 将来の災害に備えるために 233

- 1 各フェーズの対応と課題整理 233
- 2 広域避難からみえてきた居住支援への示唆 238

あとがき 245

図表一覧 19

参考文献・資料 10

注 6

索引 1